

令和
6年度

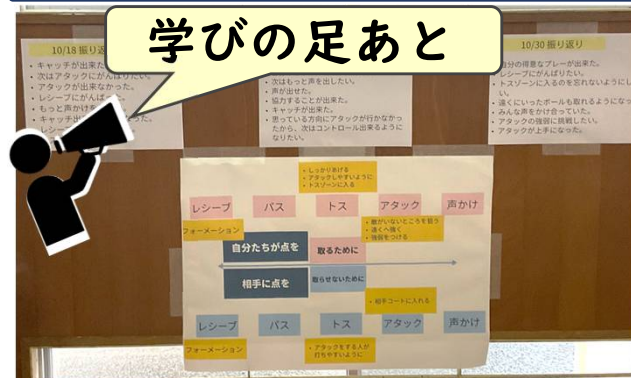
体育専科教員

中学校体育教員

「わかる」「できる」「楽しい」授業づくり

運動の日常化・習慣化となる「一校一実践」の取組、日々の授業改善、体育専科や中学校体育教員の実践が広められていることもあり、児童生徒の愛好度は、高い傾向にあります。体育は、「できた」を実感しやすい教科であるため、個に応じた手立てや場づくりが重要となってきます。今年度の実践を紹介します。

学びの足あと



日々の学びの振り返りをいつでも確認できるようにしている。



具体的な動きのポイントを写真で示している。

友だちと一緒に



体づくり運動では、『二人組ラジオ体操』を導入。友だちと協力してリズムよく、楽しい準備体操をしている。

学び合いの場



技を撮影し、動きを確認。友だちにアドバイスや良かったところを交流している。



技の動画を作成。技のポイントを子どもたちと確認している。いつでも見ることができる。

スピード感あるフィードバック



ソフトボールオリエンテーション

共有なし
必須の質問です

バレーボールのボールを狙った場所に落とす技能はどのような体力要素が必要だったか答えなさい。

- 巧み性
- 敏捷性
- スピード
- 筋持久力

授業前の安全性で気をつけることを1つ書きなさい

回答を入力

『Googleフォーム』で「小テスト」を作成。すぐに採点ができ、回答の解説をつけることで学び直しができる。